

# 式 辞

## 予行の話

いよいよ明日は、卒業式になります。

卒業式は、大きな学校行事で、三年生にとっては大きな節目の式です。

文部科学省が作った、学校で子供たちに教えるべき内容が書かれている学習指導要領には、「げんしゆく厳肅せいしんで清新な雰囲気」の中で行うことと書かれています。

厳肅とは……おごそかで心が引きしめるさま、まじめで厳しいさま

清新とは……心が改まって折り目正しい気持ちになること

です。

例えば、結婚式は、披露宴と違い、イベントがあつたり、衣装替えがあつたりはしません。決まった作法で、決められたことを肅々と進めていきます。それと一緒に、式、儀式というのは、そういうもので、集会や式典とは違います。かたぐるしいものです。

いよいよ明日は、卒業式になります。主役は、三年生ですが、参加する全員にとっても大きな学校行事です。みんなが式の意義を理解し節目にふさわしい儀式を完成させられる大人になってほしいと思います。

さて、明日の卒業式には、年末に映画になった栄光のバックホムの主人公、元阪神タイガースの横田慎太郎選手の話をしようと思っています。引退試合で投げたセンターからのバックホームが有名ですが、そのときにもキャッチャーのミットは見えないくらいの視力だったと聞いています。また、大好きな野球ができず、生きる気力がなくなったとき、両親が、「野球はできないけれど、病気と闘うことが、これが自分の野球だ」と励まし、生きる意欲が復活したと聞きました。

明日は、そんな横田選手の生き方についてのお話しを紹介して三年生に私の思いを伝えたいと思います。

令和八年三月十二日

瀬戸内市立邑久中学校長 松田典久